

| |
|---------|
| 近畿地方整備局 |
| 資料配布 |

| | |
|------|-------------------------|
| 配布日時 | 平成16年6月21日(月) 14時00分 |
|------|-------------------------|

| | |
|----|--|
| 件名 | 大滝ダム白屋地区地すべり対策工事の概略設計技術提案に関し、設計業務を行う提案を特定しました。 |
|----|--|

| | |
|----|--|
| 概要 | 大滝ダム白屋地区地すべり対策工事の概略設計に際し、コスト縮減、工期短縮を目的として、幅広く技術提案を公募し、このたび概略設計業務を行う提案を特定したのでお知らせします。 |
|----|--|

| | |
|------|-------|
| 取り扱い | _____ |
|------|-------|

| | |
|------|------------------------------------|
| 配布場所 | 近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 五條市政記者クラブ |
|------|------------------------------------|

| | |
|------|---|
| 問合せ先 | <p>国土交通省近畿地方整備局紀の川ダム統合管理事務所 白屋地区地すべり対策室長 三上 章 電話 : 07472-5-3013</p> <p>国土交通省近畿地方整備局河川部 河川工事課長補佐 西嶋 孝治 電話 : 06-6942-1141 (内線3713) 06-6942-0526</p> |
|------|---|

大滝ダム白屋地区地すべり対策工事の概略設計に際し、幅広く技術提案を公募していましたが、このたび設計業務を行う提案を特定しました。

白屋地区（奈良県川上村）においては、平成15年3月から実施した大滝ダムの試験湛水中に地すべりが発生したため、「大滝ダム白屋地区亀裂現象対策検討委員会」を設置し、地すべり機構の解明と対策工の検討を行い、平成15年12月には対策工の基本検討の結果が示されたところです。

委員会で示された基本検討によると、対策工は大規模かつ長期にわたる工事となることが予想され、コストの縮減、工期の短縮が重要な課題となっています。

そこで、これらの課題に対する取組みとして、発注者側からコスト縮減、工期短縮の概ねの目標（3割程度減）を示したうえで、技術提案を幅広く公募し、安全性・実現性等を考慮のうえ優位な対策工法を選定し、複数あった場合にはそれぞれについて概略設計を行うこととしました。

この技術提案書提出の招請を、3月10日から行い、4月19日に締め切ったところ、25社から提案があり、その後各社のヒアリング等を実施してきました。

ヒアリング結果を踏まえ、学識経験者による委員会（土木学会関西支部）の意見を参考にしながら、内部で慎重に検討を行い、その結果、提案内容が優れている以下の提案を特定しました。

特定された提案の内容は、工費・工期とも目標を概ね達成していました。

特定された技術提案の概要

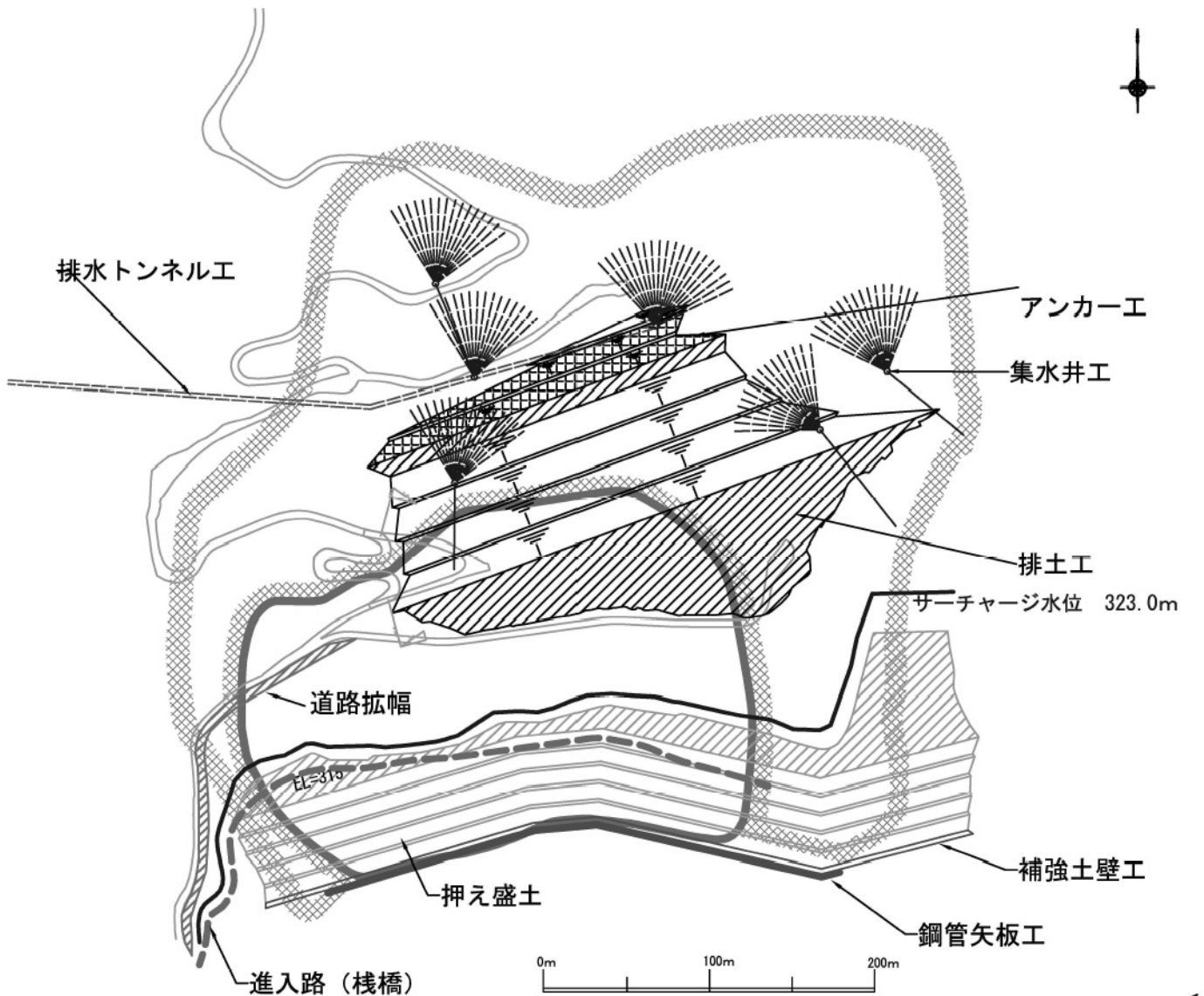
| 番号 | 業者名 | 工法名 | 特徴 |
|----|-----------------|-------------|---|
| 1 | (株)建設技術研究所 | 押え盛土＋鋼管杭工法 | 押え盛土工を基本に、鋼管杭を工夫（杭の抵抗力を増大）し、押え盛土量を減じ、コスト・工期を低減。 |
| 2 | (株)建設企画コンサルタント | 押え盛土＋排土工法 | 地すべり地区の頭部を排土し、すべり力を減じるとともに、押さえ盛土に流用しコスト・工期を低減。 |
| 3 | アイドルエンジニアリング(株) | C S G押え盛土工法 | 盛土材量を改良し、抵抗力を強めて、全体の押え盛土量を減じ、コスト・工期を低減。 |

それぞれの提案概要は、別添図参照

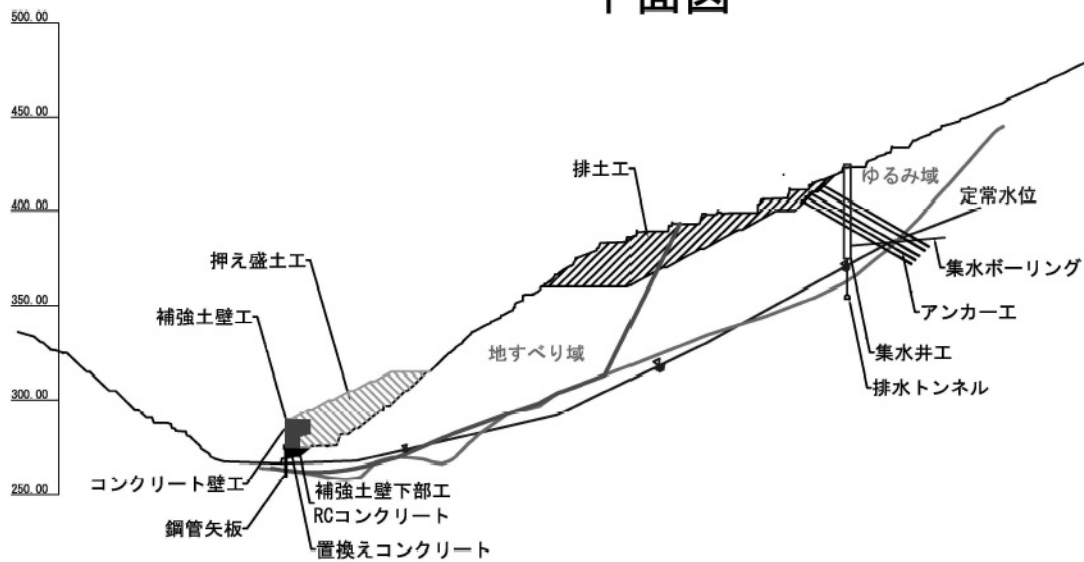
なお、上記提案についても、今後解決すべき課題を有しており、それらについては業務実施段階で検討し、必要に応じ改良することとしています。

| | | |
|-------|------|-----------------|
| 今後の予定 | 6月下旬 | 各社と随意契約（工期90日間） |
| | 秋 頃 | 概略設計業務完了 |

押え盛土＋排土工法

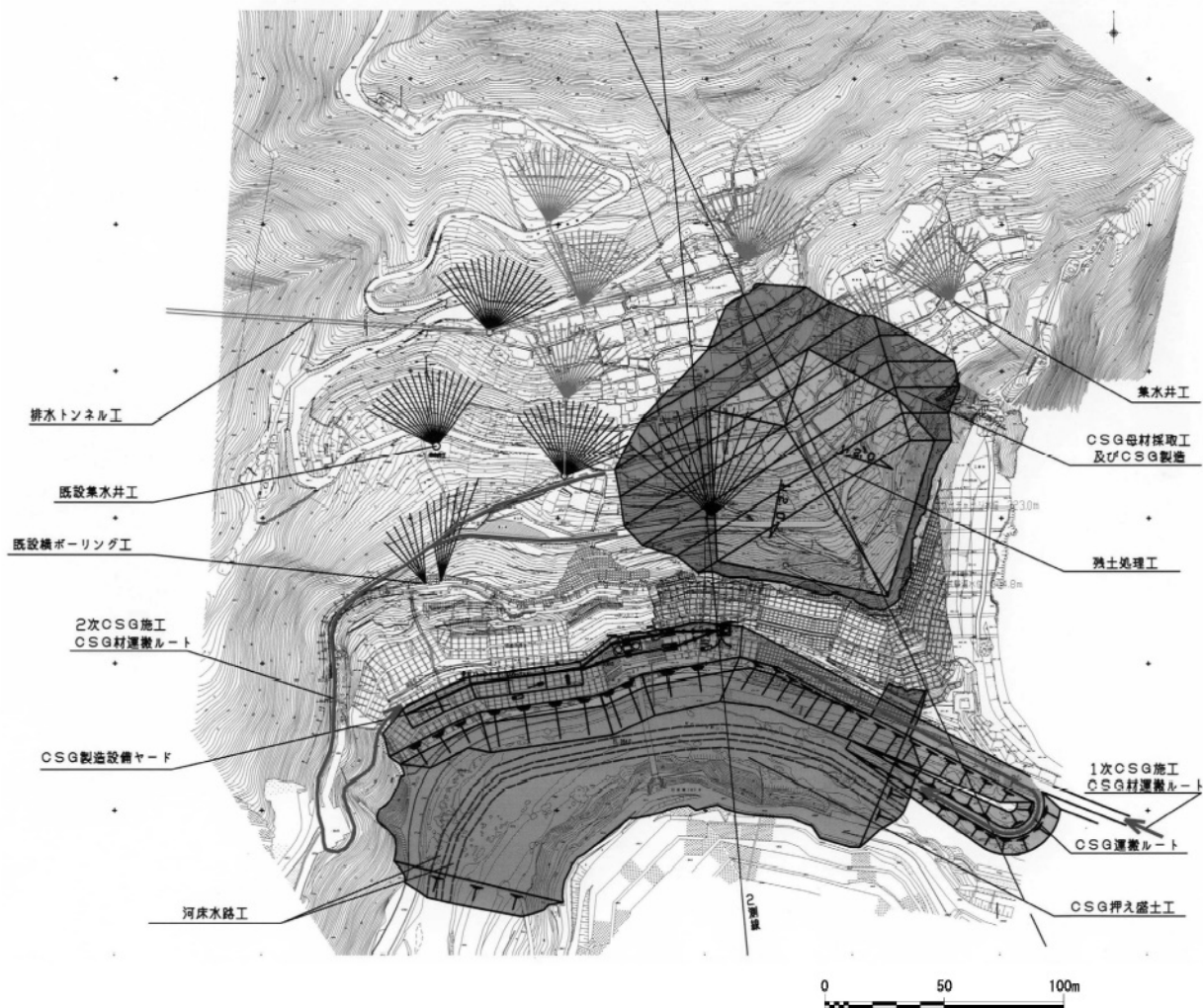


平面図

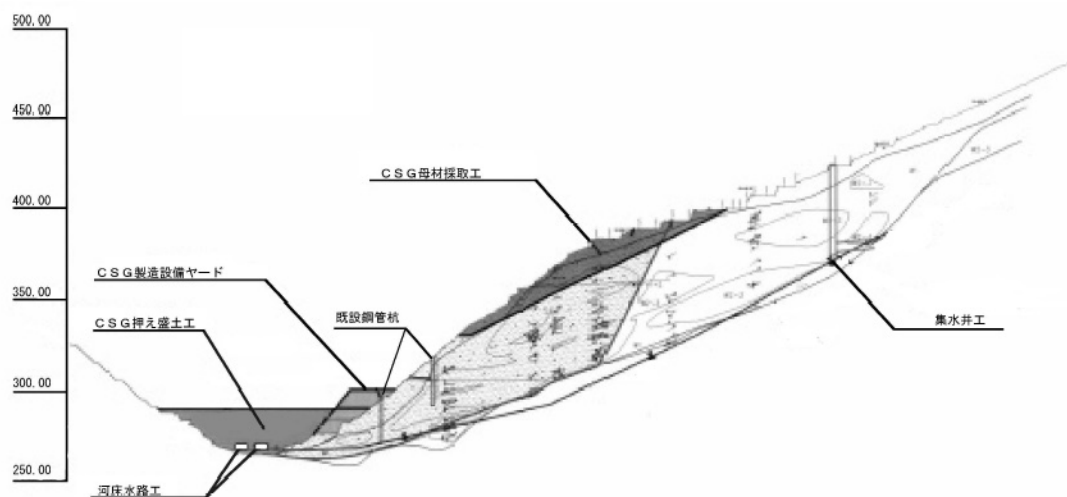


標準断面図

CSG押え盛土工法



平面図



標準断面図